

2022（令和4）年5月22日（日曜日）に開催された外国籍県民かながわ会議（第11期・第11回）の議事録は次のとおり。

1 開会

（事務局）

- ・ 会議のルール、会議の録音、欠席者及び配付資料等について説明した。

<前回の振り返り、本日の流れについて>

（サリ アビシエク 委員長）

- ・ 前回の会議では、懇話会委員から各提言案に対して様々な御意見をいただいた。その内容を踏まえて肉付けや精査を行い、提言案を更にブラッシュアップしていただいたのではないかと思います。
- ・ 本日の部会別協議では、提言案の修正内容等を共有しながら意見交換を行っていただくとともに、最終報告書で提言する項目について、部会として意思統一を図っていただきたい。
- ・ 全体会議では、各部会での協議結果を共有していただいた後、最終報告書の構成、提言の項目、副題の協議などを行う。
- ・ 次回は懇話会との合同会議が予定されている。合同会議では懇話会委員に最終報告書を意識した内容で提言案を発表し、御意見をいただく。
- ・ 残り3回の会議で我々の提言案をまとめ、最終的な形に持っていく段階になってきた。そこを意識しながら本日の議論を進めていただきたい。

2 議題

(1) 部会別協議（提言案の修正内容等）

【情報部会】

（楊 芳 部会長代理）

- ・ 前回の会議以降に提言案を修正した方はいるか。

（ケゼンダ エドワード ムインビ 委員）

- ・ 懇話会委員から「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（通称：みんな）」という団体の紹介があったため、提言案の備考欄に、団体のホームページのURLを記載した。

よう ほう ぶ かいちょうだいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 備考欄 a) の 3 つ目のクリアのホームページの URL について、
“https”ではなく“http”となっているが、正しいか。

(パックマン ジェイサン マシュー 委員)

- ・ “s”なしで正しい。“s”を入れると閲覧できない。

よう ほう ぶ かいちょうだいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 了解した。
- ・ 佐々木委員から、本日欠席するとの連絡があった。佐々木委員の提言案について、何か御意見がある方はいるか。→ (意見なし)
- ・ 私の町内会活用の提言案について、御意見や御質問があればお願いしたい。各委員は住んでいる地域の町内会や自治会に入っているか。

(リディア ワンタ 委員)

- ・ 入っている。昨年、子ども会の役員を務めた。イベント実施前には打合せを行うが、メンバーは年配の方が多いため、若い人たちが意見を言うのは大変。私はこの自治会では初めての外国人の参加者である。

なかだ しりわん 委員
(仲田 シリワン 委員)

- ・ 私の場合、住んでいるマンションの代表者が町内会に参加することになっており、一軒ずつ加入する形ではない。コロナの影響で町内会の集まりは中止となっている。

よう ほう ぶ かいちょうだいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 私のところの町内会も 2 年ぐらい何も活動できない状況だった。
- ・ 子どもが小学校に入ると、地域の活動に参加する保護者が増える。町内会に入ると知り合いも増える。
- ・ しかし、子どもが中学生になると、それまでつながっていた人と突然会う機会がなくなる。ただ、お年寄りや老人会があり、週 1 回集まって食事や料理をしているようである。

なかだ しりわん 委員
(仲田 シリワン 委員)

- ・ 日本人の若者は、町内会に興味を持たなくなっている。今参加している人は、大体 40 代以上の方である。

よう ほう ぶ かいちょうだいいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 私の地域では以前青年会があり、小学校は子ども会、中学・高校は青年会という流れだったが、誰も入らないため青年会がなくなった。子ども会の次が老人会では、間が空きすぎでもったいない。外国籍県民のサポートをきっかけに、町内会が活性化したらよいと思う。

(リディア ワンタ 委員)

- ・ 町内会の中に、外国人に取組内容を紹介する文化とか、触れ合う場があれば、外国人が集まる場所になるかもしれない。

よう ほう ぶ かいちょうだいいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 例えば、パックマン委員が町内会長を務めてみたらどうか。

(パックマン ジェイサン マシュー 委員)

- ・ 実を言うと、町内会長になった。
- ・ 町内会と言っても狭い地域で、他の方は経験済みでやりたがらないため、皆に勧められてやることになった。
- ・ コロナで何もできず、町内会費を集めるくらいしか仕事がなかった。
- ・ 年配の方は自分の家を持っているが、若い世代は賃貸だったり、長旅に出かけたりするので、なかなかこういった仕事をやりたがらない。
- ・ 若い人が参加せず、高齢の方はあまり活動しない。毎年運動会をやっていたが、止めてしまった。私の地域では年2回、皆が集まって道路などを掃除するが、その周知にインターネットを活用したりはしない。家の周りにはどんどん新しい家が建つが、若い人は町内会に入らない。

よう ほう ぶ かいちょうだいいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 話を聞きながら地域によっても差が大きいと感じた。皆が持ち家の地域とマンション住まいが多い地域でも、参加状況に差が出ると思う。

(パックマン ジェイサン マシュー 委員)

- ・ 相模原市の津久井に住んでいたとき、賃貸に住む人は、その地域の一員であるという意識がなかった。お祭りで初めて会った人に、最近ここに引っ越してきたのかと聞くと、3年前に来たと言う。同じ地域に住んでいるのに3年間も知らなかった。昔から住んでいる人と賃貸に住む人で、大きく区別されていると感じる。

(リディア ワンタ 委員)

- 町内会に参加するメリットは周りに知り合いが増えること。子どもたちも、防犯の意味でも安心感がある。

(楊 芳 部会長代理)

- 確かに防犯の面もある。私も町内会に入って知り合いが増えた。外国籍の方の孤立の防止にもよい。
- 私の提言案は積極的な町内会をイメージして書いたため、そうではない町内会にも対応できる内容にしたい。懇話会委員の御意見を踏まえ、成功した地域の方の話 を聞くとか、海外に住んだことがある方 の話を聞くことから始めるなど、そういった視点も必要かと思う。

(仲田 シリワン 委員)

- 私の住む地域は少し古い考え方で、町内会には昔から住んでいる人が参加する。急に私も参加したいというのはできない。
- 私のマンションからは、代表の一人だけが参加する。町内会長や役員は昔から住んでいる神社の方などが務めている。

(楊 芳 部会長代理)

- 色々と話を聞くと、地域外から来た人の参加に消極的な町内会も多いため、そういうところをもう少し書けたらと思う。
- 続いて、リディア委員とミリアム委員の提言案は何か修正したか。

(リディア ワンタ 委員)

- 懇話会委員から、日本と外国の文化の違いについて、外国人の保護者だけではなく日本人の保護者にも説明したらどうかという御意見があり、それを盛り込みたいが、どうしたらよいかとおもっている。
- 仕事などで説明会に参加できない外国人の保護者のために動画を作成してはどうかという御意見もあったため、内容②に記載している。

(楊 芳 部会長代理)

- タイトルが「外国につながる子どもと保護者のための小学校入学前の説明会の実施」だが、これは県に説明会の実施をお願いしたいのか。

(リディア ワンタ 委員)

- いつどこで説明会があるか、資料にまとめて知らせてほしい。

よう ほう ぶ かいちょうだいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 各市町村の説明会の日程などの情報を集約してほしいという趣旨だと理解した。横浜市では実施しているのではないか。

(リディア ワンタ 委員)

- ・ 横浜市は実施しているが、例えば小田原市など、外国人が少ない地域には資料を配布して、動画で説明会を見られるようにしてほしい。

よう ほう ぶ かいちょうだいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ その内容も提言案に書くとよいのではないか。県に対しては、情報をまとめて県のホームページに掲載してほしいというイメージか。

(リディア ワンタ 委員)

- ・ そうである。

(パックマン ジェイサン マシュー 委員)

- ・ 私たちの提言案の「かなチャンTV」の動画作成の部分に、その内容を盛り込んでどうか。リディア委員と後で相談したい。

なかだ しりわん 委員
(仲田 シリワン 委員)

- ・ 入学説明会は開催されているが、皆が別々に実施していることが問題。例えば川崎市は教育委員会と国際交流センターが別々に実施している。説明内容を話し合っ一緒に決めたりはしていない。

- ・ 県で統一したシステムを作り、全市町村が同じパターンで入学説明会を実施した方がよい。

- ・ PRが足りないことも問題。ほとんどの人が口コミで来る。説明会の後で開催することを知らなかったと言う人が多い。システムがあれば、この日にどこで説明会があるといった情報が分かる。

- ・ 川崎市では、区のたより、タウンニュース、市や国際交流センターのホームページに掲載しているが、全て日本語なので外国人は読めない。

(パックマン ジェイサン マシュー 委員)

- ・ 各学校や各教育委員会で実施方法が異なり、自分たちのやり方を守ろうとするので、同じ方法で実施するのは難しいと思う。

- ・ 学校により対応が違うので、作成する動画では答えを示すのではなく、学校にどういう質問をすればよいかといった内容にするとよいと思う。

よう ほう ぶ かいちょうだいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 全市町村で統一したフォーマットがあって、統一した内容で実施できたら理想的だと思う。一方で、特に小中学校は自治体毎のやり方があるため、皆が同じ方法や同じ流れで実施するのは難しい気もする。
- ・ 他の提言案は、県に何を願っていたのかははっきりと書いてあるが、この提言案については、県に何をしてほしいのかが分かりにくい。
- ・ 特に①と②は実施の主体が市町村になると思うので、市町村がこの内容を実現するために、県に何をしてほしいのかを記載する必要がある。
- ・ 県と市町村は対等の関係で、県が市町村に命令できるわけではない。それを踏まえた上で、県にしてほしいことを記載する必要がある。
- ・ ①と②について県に何をしてほしいのか、1番最初に結論をはっきりと書いて、その後具体的な内容を書くとは分かりやすくなると思う。

(パックマン ジェイサン マシュー 委員)

- ・ ②は相談した上で、私たちの1番目の提言案に入れるかもしれない。

よう ほう ぶ かいちょうだいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ ③は県に対する提言案になっているのでよいと思う。①は個別の市町村に願うのならこれでよい気もするが、県に対する提言なので、県から働きかけてほしいという形にするなど、うまく書けるとよい。

なかだ しいん
(仲田 シリワン 委員)

- ・ 質問したい。自分の子どもが日本国籍であれば、入学前に区役所からはがきが来るらしい。しかし、外国籍だとはがきが来ないと聞いた。

(リディア ワンタ 委員)

- ・ そのとおり。保護者が外国籍だと、はがきが届かない。

なかだ しいん
(仲田 シリワン 委員)

- ・ 両親が全然日本語ができない場合、学校がいつ始まるのか、どの学校に通ったらよいかなど、絶対に分からないと思う。

(リディア ワンタ 委員)

- ・ 横浜市の場合、外国籍の保護者は多言語支援センターやYOKEの案内をもらう。保護者はその相談窓口で連絡し、相談窓口を介して、学校側と入学したい日や説明の実施日を調整している。

よう ほう ぶ かいちょうだいいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 外国籍だとはがきが届かず、先に学校側から入学許可をもらって、学校が許可したら初めて区役所に手続きしに行く。通常は区役所からはがきが来て学校に行くが、外国籍だと逆になると聞いた。
- ・ そこを何とかできないか。日本国籍の子どもと同じようにせめて通知するとか、その仕組みについて県で考え方を取りまとめて、県内の市町村に検討を依頼するとか、そういう提言でもよいかと思った。

じむきょく
(事務局)

- ・ 各市町村で対応が異なるのであれば、仕組みを統一するよう県から市町村に働きかけてほしいとか、入学までの流れや入学前に必要なものを説明する動画を県で作ってほしいといった書き方はあるかと思う。

よう ほう ぶ かいちょうだいいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 続いて、シリワン委員の提言案は、前回から変更点はあるか。内容としては、県に予算を立てていただきたいということで、分かりやすい。

なかだ
(仲田 シリワン 委員)

- ・ 変更点はない。
- ・ ボランティアとは言え、場所が遠いと交通費が1,000円を超えることもある。自分の時間を使った上に、交通費も払うのは負担が大きすぎる。
- ・ 区役所では、健康診断で医者や看護師の説明の通訳を行った経験があるが、ボランティアグループがあるとよい。
- ・ 学校は、いつまでに何を準備すべきかなど保護者向けの手紙が多いが、外国人の保護者がボランティアをすれば、他の保護者を助けられる。

よう ほう ぶ かいちょうだいいり
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 私の子どもが中華学校から公立小学校に転校したが、地域に中国人の住民が多いため、学校の手紙が全て日本語と中国語の2か国語で書かれていて驚いた。
- ・ ただし、これは学校レベルでの対応であり、外国人が少ない地域では難しいかもしれない。これも、小規模な自治体に関しては県で統一したやり方を取りまとめて提案してもらおうといった対応が考えられる。

じんけん きょういくぶかい
【人権・教育部会】

は さんう ぶかいちよう
(河 相宇 部会長)

- ・ 人権・教育部会は、人権関係3つ、教育関係3つの計6個のテーマで話し合ってきたが、そのままの形で提言するということがよいか。

(サリ アビシエク 委員)

- ・ これまでの協議で、内容が曖昧とか、この提言を行うのはどうかと
いったものはないため、この6つでよいかと思う。

すずき みゆき やまもと いいん
(鈴木 クリスチーナ 美幸 山本 委員)

- ・ 子供の権利に関する条例制定の提言案に、日本語教育を含む教育
支援や、県立インターナショナル・コースの提言案を含めることはでき
ないか。全て子供に関する内容なので、1つにまとめてはどうか。

(サリ アビシエク 委員)

- ・ 私の提言案は、英語化を進めたいという趣旨ではない。現状、イン
ターナショナルな教育と言うと英語がメインになるだけで、子供には
日本語をしっかりと教えることが必要だと思うので、まとめてもよい。

きむ えよん いいん
(金 愛蓮 委員)

- ・ 高齢者、法律、教育、就職の4つにまとめてはどうか。インター
ナショナル・コースは、日本語教育の一環としてもまとまりがよい。
- ・ 高齢者問題や外国人起業家支援は重要な問題であり、続けて提言し
ていくべきことだと思うので、残したい。
- ・ あとは教育の幅を広げて、その中に組み込んでいく。
- ・ 地方参政権も、外国人の私たちが続けて提言していくべきだと思う。

(サリ アビシエク 委員)

- ・ 過去の経験から言うと、まとめたい気持ちは分かるが、高齢者、
就職、教育は分けた方がよいと思う。
- ・ テーマ別にした方が、県に提言したときに、それぞれの担当部署に振
り分けされるため、実現可能性が高くなる。

きむ えよん いいん
(金 愛蓮 委員)

- ・ そういう趣旨である。4つのテーマで提言したらよいと考えている。

は さんう ぶ かいちょう
(河 相宇 部会長)

- ・ 今(いま)まで6つのテーマで話(はなし)をしてきたので、敢(あ)えてまとめる必要(ひつよう)があるか疑問(ぎもん)に感じる。例(れい)えば教育(きょういく)でまとめると言(い)っても、日本語教育(にほんごきょういく)と子供(こども)の権利(けんり)とインターナショナル・コースは、若(じや)干(かん)趣旨(しゆし)が異なる(こと)。
- ・ まとめる(ていげん)と提言(ないよう)内容(わ)が分(わか)りにくくなる。県(けん)の担当(たんとう)部署(ぶしょ)も別々(べつべつ)になるので、小(しょう)テーマで具体的(ぐたいてき)に提言(ていげん)した方(ほう)が、実現性(じつげんせい)が増(ま)すのではない(か)。

とう とくりゅう いいん
(唐 徳龍 委員)

- ・ 人権(じんけん)関係(かんけい)も教育(きょういく)関係(かんけい)も大(だい)事(じ)な内容(ないよう)。特(とく)に人権(じんけん)関係(かんけい)の地方(ちほう)参政(さんせい)権(けん)は、提言(ていげん)すること自体(じたい)に意味(いみ)があるので、人権(じんけん)関係(かんけい)に据(す)え置(お)いてよ(よ)いと思(おも)う。
- ・ 教育(きょういく)関係(かんけい)は、日本語教育(にほんごきょういく)を(を)含む(ふく)教育(きょういく)支援(しえん)について(について)は抽(ちゆう)象(しょう)的(てき)なところ(ところ)もある(あ)るが、個(こ)別(べつ)のテーマと(と)した方(ほう)が、実(じつ)現(げん)可(か)能(ねい)性(せい)は高(たか)くなる(なる)と思(おも)う。

(サリ アビシエク いいん
委員)

- ・ 部(ぶ)会(かい)長(ちやう)の意(い)見(けん)に賛(さん)成(せい)である(である)。
- ・ 先(さき)ほどの発(はつ)言(げん)を訂(てい)正(せい)したい。イン(いん)タ(タ)ー(ター)ナ(ナ)シ(シ)ョ(ョ)ナ(ナ)ル(ル)・コ(コ)ー(ー)ス(ス)で実(じつ)施(し)する(する)に(に)ほ(ほ)ん(ん)ご(ご)き(き)ょう(ょう)い(い)く(く)ぶ(ぶ)分(ぶん)は(は)ま(ま)と(と)め(め)る(る)こ(こ)も(も)可(か)能(ねい)だ(だ)が(が)、日(に)本(ほん)語(ご)教(きょう)育(いく)を(を)含(ふく)む(む)教(きょう)育(いく)支(し)援(えん)の提(てい)言(げん)案(あん)に(に)は、オ(オ)ン(ン)ラ(ラ)イ(イ)ン(ン)教(きょう)材(ざい)、学(がく)校(がく)教(きょう)育(いく)以(い)外(がい)の日(に)本(ほん)語(ご)学(がく)習(じゅう)、報(ほう)奨(じやう)金(きん)の(の)話(わ)な(な)ど(ど)も(も)あ(あ)る(る)の(の)で、提(てい)言(げん)と(と)し(し)て(て)分(わか)た(た)方(ほう)が(が)よ(よ)い(い)。

は さんう ぶ かいちょう
(河 相宇 部会長)

- ・ 今(いま)までど(ど)お(お)り(り)、人(じん)権(けん)関(かん)係(けい)は(は)3(さん)つ(つ)の(の)テ(テ)マ(マ)、教(きょう)育(いく)関(かん)係(けい)は(は)3(さん)つ(つ)の(の)テ(テ)マ(マ)、計(けい)6(む)つ(つ)の(の)テ(テ)マ(マ)で(で)提(てい)言(げん)す(す)る(る)こ(こ)と(と)し(し)たい(たい)。
- ・ こ(こ)れ(れ)ま(ま)で(で)各(かく)委(い)員(いん)と(と)は(は)直(ちやく)接(せつ)会(かい)う(う)こ(こ)と(と)が(が)で(で)き(き)ず(ず)、メ(メ)ー(ー)ル(ル)な(な)ど(ど)で(で)や(や)り(り)取(と)り(り)し(し)て(て)き(き)た(た)が(が)、最(さい)終(しゆう)的(てき)な(な)提(てい)言(げん)を(を)ま(ま)と(と)め(め)る(る)作(さく)業(ぎやう)を(を)進(すす)め(め)る(る)た(た)め(め)に(に)、1(いち)度(ど)集(あ)ま(ま)れ(れ)る(る)人(ひと)だ(だ)け(け)で(で)も(も)集(あ)ま(ま)っ(つ)て(て)、話(わ)し(し)合(あ)い(い)を(を)し(し)た(た)方(ほう)が(が)効(こう)率(りつ)的(てき)で(で)な(な)い(い)か(か)。

きむ えよん いいん
(金 愛蓮 委員)

- ・ こ(こ)の(の)会(かい)議(ぎ)に(に)参(さん)加(か)す(す)る(る)の(の)は(は)今(こん)期(き)が(が)初(は)め(め)で(で)、過(か)去(こ)の(の)提(てい)言(げん)を(を)真(ま)似(に)た(た)り(り)し(し)な(な)が(が)ら(ら)提(てい)言(げん)案(あん)を(を)書(か)い(い)て(て)い(い)る(る)。1(いち)度(ど)集(あ)ま(ま)っ(つ)て(て)話(わ)し(し)合(あ)う(う)こ(こ)と(と)は(は)大(だい)事(じ)だ(だ)と(と)思(おも)う(う)。
- ・ 自(じ)分(ぶん)の(の)思(おも)い(い)込(こ)み(み)で(で)提(てい)言(げん)書(しょ)を(を)ま(ま)と(と)め(め)て(て)し(し)ま(ま)う(う)こ(こ)と(と)に(に)不(ふ)安(あん)も(も)あ(あ)る(る)し(し)、も(も)っ(つ)と(と)詰(つ)め(め)れ(れ)ば(ば)よ(よ)い(い)も(も)の(の)が(が)で(で)き(き)る(る)と思(おも)う(う)の(の)で、大(だい)賛(さん)成(せい)で(で)あ(あ)る(る)。

は さんう ぶ かいちょう
(河 相宇 部会長)

- ・ 各(かく)委(い)員(いん)が(が)同(どう)意(い)す(す)れ(れ)ば(ば)、個(こ)別(べつ)に(に)集(あ)ま(ま)っ(つ)て(て)話(わ)し(し)合(あ)う(う)こ(こ)と(と)は(は)問(もん)題(だい)な(な)い(い)か(か)。

(事務局)

- ・ 必要に応じて集まっていたくことは、全く問題ない。

(サリ アビシエク 委員)

- ・ その場合、県民センターの部屋を予約していただくことは可能か。

(事務局)

- ・ 県民センターの会議室は空きが少ないため、日程を決めていただいた上で、空きがあるか確認したいと思う。

(サリ アビシエク 委員)

- ・ 次回の合同会議は7月か。

(事務局)

- ・ 7月下旬から8月上旬で検討中である。

(河 相宇 部会長)

- ・ 合同会議までに、80%から90%ぐらい提言をまとめる必要があるか。

(事務局)

- ・ 最終的な提言書の形にまとめられれば理想的だが、そこまで行けなくても、提言書の構成を本日決めるので、そこに各委員の提言を落とし込んだ形で、懇話会に発表できればと思っている。

(鈴木 クリスチーナ 美幸 山本 委員)

- ・ 確かに県民センターの会議室は取りづらい。横浜駅南口に、西区福祉保健活動拠点フクシアという場所があり、比較的予約が取りやすい。明日行く予定なので、空き状況を確認するか。

(河 相宇 部会長)

- ・ お願いたい。まずはいつ空いているか確認していただき、本日欠席の委員も含めて、参加可能な人数が多い日で調整したい。

(事務局)

- ・ フクシアの会議室を使用するのに使用料はかかるのか。

(鈴木 クリスチーナ 美幸 山本 委員)

- ・ 無料である。

(河 相宇 部会長)

- ・ 提言を仕上げる時期に来ているし、直接お会いした方が効率的だと思ふ。よい提言が作れるように、皆さんと頑張っていきたい。
- ・ 残り 10分だが、他に御意見や御提案などはあるか。

(事務局)

- ・ 前回から提言案を修正した部分について、共有しなくてよいか。

(河 相宇 部会長)

- ・ 外国人の地方参政権の導入に関して、修正点の説明をお願いしたい。

(金 愛蓮 委員)

- ・ タイトル以外、内容と理由を全部修正したので、目を通していただきたい。更に付け加えたい内容もあるため、今度皆さんに相談したい。

(河 相宇 部会長)

- ・ 唐委員から、修正点の説明をお願いしたい。

(唐 徳龍 委員)

- ・ 主に文言の修正だが、母語による学習支援は内容を修正した。以前から、実現可能性が他の提言案より低いのではという懸念があった。
- ・ この提言は、言語的なアイデンティティを維持することではなく、学習支援が目的であるため、対面ではなく、オンデマンドの解説動画を作成する方が実現可能性が高いと考え、内容を修正した。
- ・ ①と類似の部分があるため、うまく融合できればよいと考えている。

(金 愛蓮 委員)

- ・ 外国につながる児童・生徒が、日本語教育が足りないのか発達障害なのか区別できないまま、特別支援学級に送られる事例が増えている。
- ・ 日本語や母語を学習すれば理解力が向上するのに、言語能力が育たないまま、集中力がない、多動性が見られるとして特別支援学級に送られてしまう。そういった内容を盛り込んでいただきたい。

(サリ アビシエク 委員)

- ・ インターナショナル・コースの提言案については、日本語教育の部分を追加して送付する。

(2) 全体会議（最終報告書の構成、提言項目、副題の協議等）

(サリ アビシエク 委員長)

- ・ はじめに、各部会で話し合った内容の共有をお願いしたい。

(楊 芳 部会長代理)

- ・ 情報部会では、各提言案の内容について改めて確認した。
- ・ 提言案の書き方として、誰に何を実施してほしいのかが分かりにくいものがある。最終的に市町村に実施してほしいことでも、県に対する提言なので、県に何ををお願いしたいかを整理すべき部分を確認した。
- ・ 例えば、外国籍の子供の小学校の入学手続きなどは、市町村によって対応が異なるため、県の方で統一した実施方法を取りまとめて市町村に提供してほしいなど、書き方を工夫した方がよいという話をした。

(サリ アビシエク 委員長)

- ・ 提言の数としては、5つのままで進めるということではどうか。

(楊 芳 部会長代理)

- ・ 提言案の一部を他の項目にまとめる部分はあるかもしれないが、基本的には5つで考えている。

(河 相宇 部会長)

- ・ 人権・教育部会では、主に3点について話をした。
- ・ 1点目として、提言のテーマについて協議した。4つのテーマにまとめ直すといった意見もあったが、結論としては、人権関係で3つ、教育関係で3つ、計6つのテーマで提言するという事で決定した。
- ・ 2点目として、今後の進め方について協議した。メールのやり取りだけでは提言案について深い議論ができないため、次回の会議前に自主的に集まって、提言を仕上げるための話し合いの場を設けることにした。
- ・ 3点目として、外国人の地方参政権の導入、日本語教育を含む教育支援の提言案について、修正内容を共有した。インターナショナル・コースの提言は、今後一部修正した上で共有することになった。

(サリ アビシエク 委員長)

- ・ 次に、最終報告書の構成について協議したい。事務局から構成案について説明をお願いしたい。

じむきょく
(事務局)

- 資料3を御覧いただきたい。前期の報告書を参考にしながら、最終報告書の構成案を事務局で作成した。(構成案の内容を順に説明)
- 必ずしもこのとおりにする必要はなく、これをベースにして、委員の皆様はどういう構成がよいか御検討いただきたい。

いいんちょう
(サリ アビシエク 委員長)

- まずは、提言全体をまとめる副題について話したい。
- 案があれば発表していただき、皆さんの御意見等を伺いたい。

よう ほう ふくいんちょう
(楊 芳 副委員長)

- 今期の提言は、高齢者のサポート、地方参政権、教育、町内会など、外国から来た人の立場というより、「第二のふるさと」で生活する人のものだと感じたので、「第二のふるさとを生きる」という案を考えた。
- また、「共に創る明日へ」「異文化も個性の時代へ」という案も考えたが、本命は「第二のふるさとを生きる」である。

すずき みゆき やまもと いいん
(鈴木 クリスティーナ 美幸 山本 委員)

- 社会を一緒に作り上げていくイメージで、「神奈川県ビジョン“未来を共に創る”子供を守ろう、高齢者を支えよう」という案を考えた。

よう ほう ふくいんちょう
(楊 芳 副委員長)

- 金委員からは、チャットで「一人一人が尊重される神奈川県を目指して」「外国籍県民の思いが届くように」「一緒につくる神奈川県外国籍県民と共に」という案をいただいた。

きむ えよん いいん
(金 愛蓮 委員)

- 一人の外国籍県民として、日本の皆さんと一緒に生きていきたいという思いを込めた。

よう ほう ふくいんちょう
(楊 芳 副委員長)

- 前期の副題は「共に創る真の多文化共生社会をめざして」で、前回は「創る」が入っていた。

いいん
(パックマン ジェイサン マシュー 委員)

- 「第二のふるさと」は面白いと思う。

(ケゼンダ エドワード ムインビ 委員)

- ・ 我々は外国人の立場で参加しているが、今暮らしている社会には日本人もいるので、ダイバーシティを強調するような、外国人だけではなく日本人と一緒にやっていくイメージの副題だとよいと思う。

(リディア ワンタ 委員)

- ・ 「ふるさと」や「子供や高齢者の未来」といった言葉はよいと思う。

(河 相宇 委員)

- ・ 「第二のふるさと」はよい。「みんなで創る神奈川の未来」など、明るくて住みやすい神奈川を皆で作っていく感じの言葉がよいと思う。

(唐 徳龍 委員)

- ・ 「みんなが安心して暮らせる神奈川を目指して」という案を考えた。日本人や外国人の区別なく、安心して生活できる環境が保障された社会にしたいという思いを込めた。「第二のふるさと」はすごくよい。

(サリ アビシエク 委員長)

- ・ 「第二のふるさと」は気に入ったが、この言葉だと、外国人の立場だけを強調してしまう。この会議は外国人と日本人と一緒に暮らしやすい場所を作ろうという趣旨なので、金委員の「一人一人が尊重される神奈川」もよいと思う。この2つを融合して何かできないかと思った。

(楊 芳 副委員長)

- ・ 鈴木委員の「神奈川ビジョン」もよい。前期は入っていなかったが、「神奈川」という言葉が入っていた方がよいと思う。

(サリ アビシエク 委員長)

- ・ 「神奈川」を入れた方が県にも響くと思う。事務局はどう考えるか。

(事務局)

- ・ 神奈川県への提言であることを強調する意味で、「神奈川」という言葉を入れていただくのはよいかと思う。
- ・ 県は「ともに生きる社会」を打ち出しているので、外国人と日本人の両方という意味で、「ともに」「みんな」という言葉はよいと感じた。
- ・ 「第二のふるさとを生きる」は斬新で印象的だと思った。

よう ほう ふくいんちょう
(楊 芳 副委員長)

- ・ 「^{かながわ}神奈川^{とも つく わ}ビジョン：共に創る我がふるさと」ではどうか。

(サリ アビシエク ^{いいんちょう}委員長)

- ・ 「^{だいに}第二」がない方が、^{ほう}日本人も^{がいこくじん}外国人も、^{い み}という意味ではよい。
- ・ ^{ふくだい}副題は、^{ほんじつかなら}本日 ^{けつてい}必ず^{ひつよう}決定する必要があるか。

^{じむきょく}
(事務局)

- ・ ^{さいしゅうけつてい}最終決定というわけではないが、^{いったん}一旦^{ほんじつ き}は本日決めていただきたい。

よう ほう ふくいんちょう
(楊 芳 副委員長)

- ・ ^{きむいん}金委員が^{おく}チャットに送った「^いともに生きる」は、^{けん}県の^{けんしょう}憲章^{おな}と同じ^{ひょうげん}表現。同じでもよいし、^あ敢えて「^{つく}ともに創る」に^か変えてもよいと思う。

(サリ アビシエク ^{いいんちょう}委員長)

- ・ 同じでよい。県職員が聞き慣れた言葉の方が、^{しんきんかん}親近感が^わ沸いて^{じつげん}実現^{かのうせい}の可能性が高まるかもしれない。

(パックマン ジェイサン マシユー ^{いいん}委員)

- ・ 「^わ我がふるさと」という言葉、^{ことば}日本人にとってはそのとおりだが、^{がいこくじん}外国人が「^わ我が」というのはどうなのか。日本語で「^わ我がふるさと」といえば、^う生まれたところを^さ指すと^{おも}思う。

^は ^{さんう} ^{いいん}
(河 相宇 委員)

- ・ 「^わ我が」を入れなくても意味は通じると思う。

よう ほう ふくいんちょう
(楊 芳 副委員長)

- ・ ^{ざんていばん}暫定版として、「^{とも い}共に生きるふるさと^{かながわ}神奈川」にするか。

(サリ アビシエク ^{いいんちょう}委員長)

- ・ そういった^{かたち}形で^{おも}いきたいと思う。
- ※ ^ひ引き続き^{つづ}チャットでやり取りがあり、「^{ひとり}一人ひとりが^{そんちょう}尊重される^{しゃかい}社会へ！^{とも い}～共に生きるふるさと^{かながわ}神奈川^{けつてい}～」に決定。
- ・ ^{つぎ}次に、^{ごうどうかいぎ}合同会議の^{はつびょうしゃ}発表者や^{はつびょうほうほう}発表方法を^き決めたい。オープン会議では、^{きほんてき}基本的に^{かくていあんしゃ}各提案者が^{はつびょう}発表し、^{ふくすうにん}複数人の^{ていげんあん}提言案は、^{はつびょうしゃ}発表者を^{ひとり}一人^き決めたと^{おも}思うので、^{こんかい}今回も^{おな}同じ^{かたち}形でよいのではないかと。

- 発表者や発表方法について、事務局はどう考えているか。

(事務局)

- 発表者は本日決めていただきたい。発表方法は、オープン会議と同様に、パワーポイントを使用して説明してはどうかと考えている。

(サリ アビシエク 委員長)

- 各委員がパワーポイントを作る必要があるということか。

(事務局)

- オープン会議で作成したパワーポイントをベースに、提言内容を変えた部分などを修正していけばよいのではと考えている。

(サリ アビシエク 委員長)

- 各提言案について、順番に発表者を決めていきたい。

※ 以下のとおり決定した。

【情報部会】

- ICTツールを活用した外国籍県民への情報提供

ケゼンダ エドワード ムインビ 委員

- 外国籍県民かながわ会議の発信力向上のための環境整備

佐々木 聖壘 委員

- 地域住民との交流促進のための町内会活用案

楊 芳 委員

- 外国につながるこどもと保護者のための小学校入学前の説明会の実施

リディア ワンタ 委員 又は ティンキーコ ミリアム 委員

(どちらが発表するかは、6月15日までに決定)

- 外国人ボランティアを増やすプロジェクト

仲田 シリワン 委員

【人権・教育部会】

- 高齢者の外国籍県民が安心して生活できるサポート体制の構築

鈴木 クリスチーナ 美幸 山本 委員

- 神奈川県で子供の権利に関する条例 制定

河 相宇 委員

- 外国人の地方参政権導入

金 愛蓮 委員

④日本語教育を含む教育支援について

とう とくりゆう いいん
唐 徳 龍 委員

⑤外国人起業家支援について

りー ロイ ジャシュン 委員

⑥県立インターナショナル・コースの導入・多言語サークルの導入

さり アビシエク 委員

(さり アビシエク 委員長)

- 発表方法について、提言案の内容は懇話会委員に事前に読んでいただく前提なので、提言案を実現したい理由を簡潔に伝えていただきたい。

よう ほう ふくいんちよう
(楊 芳 副委員長)

- オープン会議では、発表内容を3行にまとめて事務局に送り、パワーポイントは事務局でまとめてもらった。今回も同じ形にするか。

じむきよく
(事務局)

- オープン会議で作成したパワーポイントがあるので、それをベースに作るということであれば、それを各部会長に送るので、必要に応じて修正していただき、最後に事務局の方でまとめたい。

よう ほう ふくいんちよう
(楊 芳 副委員長)

- 承知した。

きむ えよん いいん
(金 愛蓮 委員)

- 外国人の地方参政権の導入の提言案について、元々は河委員が作成していたが、内容が大幅に変わってしまった。提言案に記載する名前を、私の名前に変更していただくことはできないか。

は さんう いいん
(河 相宇 委員)

- 構わない。

じむきよく
(事務局)

- 資料3で示した最終報告書の構成案はこの形でよいか。現在は各提言の部分を〇〇と仮で記載したが、本日の議論で情報部会は5つ、人権・教育部会は6つのテーマで提言することが決定したため、各提言案のタイトルを〇〇に入れ込むということによいか。

かくいいん
(各委員)

- ・ 異議なし。

じむきょく
(事務局)

- ・ 最終報告書の作成に当たっては、事務局で全体的なフォーマットを用意しようと考えているが、各提言を入れ込む作業等については各委員にお願いしたいので、内容については改めて連絡する。
- ・ 次回の会議の開催方法について、これまでコロナの影響でオンラインで継続してきたが、各委員から「一度も顔を会わずに提言までいくのは不安」「コロナも収まってきたので、実際に会ってお話したい」という御意見があったため、対面での開催を検討している。

(サリ アビシエク 委員長)

- ・ できれば対面で皆さんにお会いして、懇話会委員にアピールしたい。

かくいいん
(各委員)

- ・ 対面でよいと思う。

じむきょく
(事務局)

- ・ もし対面に抵抗がある方がいれば、オンラインでつなぐことも可能。懇話会委員については、対面でその場に来ていただくのか、オンラインでつないで発表するか、懇話会の方と調整して決定したい。
- ・ 会場はかながわ県民センターの会議室を予定している。日程調整等、改めて連絡する。
- ・ 次回の会議までに発表の準備を進める必要があり、各委員にお願いしたい作業等を追って連絡するので、御対応をお願いしたい。

いじょう
(以上)